

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003011	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第13講義室 / Room13		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003012	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003013	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 真子 / Yamada Masako		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 真子 / Yamada Masako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 真子 / Yamada Masako		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室 / Room 22		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	myamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	410号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2399		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜2校時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003014	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	福山 隆雄 fukuyama-takao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	福山 隆雄 教育学部本館4階414号室		
担当教員TEL/Tel	福山 隆雄 095-819-2337 (研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	福山 隆雄 金曜日6校時目 研究室にて		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003015	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimabukuro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部棟310号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 14:20-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003016	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003017	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第25講義室 / Room 25		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmakino@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	美術技術棟 216		
担当教員TEL/Tel	095-819-2350		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールの事。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員と話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003018	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第12講義室 / Room12		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003019	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	本館1階110研究室		
担当教員TEL / Tel	2358		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時(事前に予約すること)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員と話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	初年次教育のみならず、大学で学ぶとはどういうことかについて探究してほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003020	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山内 正毅 / Yamauchi Masaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山内 正毅 / Yamauchi Masaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山内 正毅 / Yamauchi Masaki		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第13講義室 / Room13		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、教養ゼミナール研究を行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育, 課題解決型学習, 自己表現能力, コミュニケーション能力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション20点, レポート60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility			
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	本科目の位置づけ及び学習・教育目標については、教養教育学生便覧を参照すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	図書館資料収集ガイダンスの受講		
第3回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション		
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション		

第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003021	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤木 卓 / Takashi Fujiki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤木 卓 / Takashi Fujiki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤木 卓 / Takashi Fujiki		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003022	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平田 勝政 / Hirata Katumasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平田 勝政 / Hirata Katumasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平田 勝政 / Hirata Katumasa		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003023	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原田 純治 / Harada Jiyunji		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員メールアドレス: harada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	担当教員研究室: 教育学部本館222室		
担当教員TEL/Tel	担当教員TEL: 095-819-2396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員オフィスアワー: メールにて事前に協議のこと		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		

第2回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第3回	各学生によるテーマの提示と説明，質疑応答，学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003023	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原田 純治 / Harada Jiyunji		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003024	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003025	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	呉屋 博 / Goya Hiroshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	呉屋 博 / Goya Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	呉屋 博 / Goya Hiroshi		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003026	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	脇 信明 / Nobuaki Waki		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nobuwaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	本館 2 F 225研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2388		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時(事前の訪問予約メールを)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003027	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taijihatanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	253室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。ただし、事前にメール等でアポをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003028	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館4F第41講義室 / Room 41		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員と話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003029	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件) / Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170581003030	科目番号 / Subject code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井手 弘人 / Ide Hiroto		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Goal	知的活動への動機づけを高める。科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	学生それぞれに研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表する。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、プレゼンテーション形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成し、初年次セミナー研究を行うに当たった課題発見・課題探求能力、問題解決能力について評価する。		
授業内容/Class outline/Con	以下の内容をクラスごとに行う。クラスにより内容が前後することがある。シラバスに変更がある場合はクラスごとに配布する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、初年次セミナーの具体的進め方・計画の説明		
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業		
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講		

第4回	テーマの設定，グループ分け，グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション，グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告，計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション，発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答，グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション，質疑応答，レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出